

The ARK STYLE

Produced by Ark

内見会ご来場の方に「全国共通お食事券」プレゼントいたします♪

徳前展示場 10月14日(土)・15日(日) 内見会

■内見会会場/中能登町徳前 ■開催時間/AM10:00~PM5:00

見学会実施日でない日でもご連絡をいただければ、ご対応いたします。日曜日は随時、ご覧になれます。



家事動線 GOOD DAILY LIFE HOUSE



MODEL HOUSE PLAN



洗練された和モダンの和室



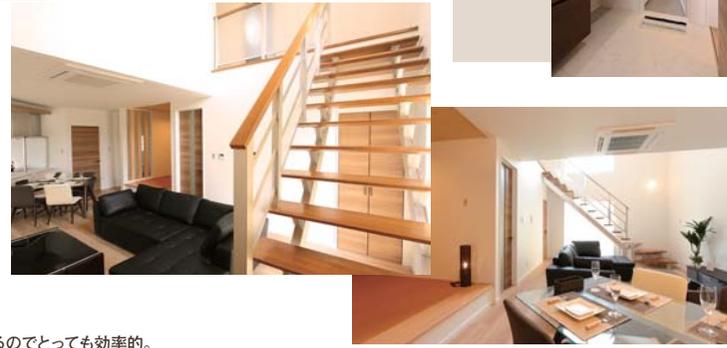
家族の笑顔が見えるキッチン



セパレートできる子供部屋。

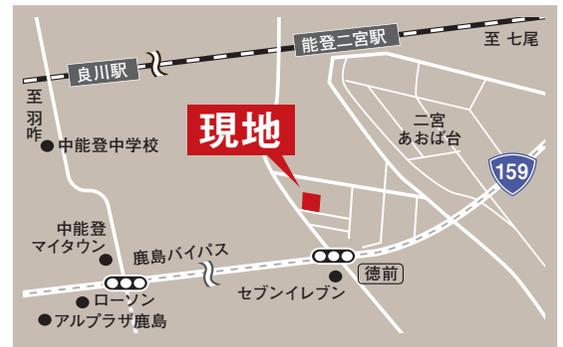


明るい光が差し込むリビング。



ディテールのこだわりと多彩な工夫が生み出すオリジナルの空間設計。

全体的に柔らかなトーンでまとめられた中能登町徳前モデルハウス。LDKは開放感のある吹き抜けが印象的で、キッチン・浴室・洗面室の各部屋が家事動線上にレイアウトされているのでとても効率的。リビングには小上がリスペースが設けられ、憩いの場や子供の遊び場などに活用できます。和室はモダンなデザインでまとめられており、突然の来客があっても安心。四季を楽しめる住まいをぜひ御覧下さい。



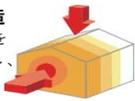
プレウォール工法 = 在来工法と2×4工法のいいとこどり。

耐震性 大地震にもしっかりと耐え、大空間・大開口も。

「大地震」…モノコック構造が、外からの力を分散!

軸組と床・壁パネルを組み合わせたプレウォールを導入することで、耐力壁をバランスよく配置する「モノコック構造」が実現。高い耐震性の実現に最適な建築構造です。

モノコック構造
外部からの荷重を面全体で分散し、受け止めます。



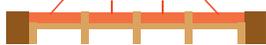
在来軸組構造
外部からの力が柱や梁などに集中しやすく、強度を発揮しにくい。



「余震」…在来軸組工法の2倍以上の強度!

プレウォールでは本震だけでなく、繰り返す余震にも備えるため、「真壁構造」を採用しています。真壁構造は、地震の揺れが伝わると壁が突っ張ってしっかりと耐えます。また、柱に壁材をくぎで打ち付けるだけの大壁構造にくらべて柔軟性があり、繰り返しの揺れにも強いので、余震があっても安心です。

真壁構造 (プレウォール)
柱と柱の間に壁をつくる



「大空間」…高強度だからできる、オープンな間取り。

軸組と床・壁パネルを組み合わせたプレウォールを導入することで、耐力壁をバランスよく配置。吹き抜けや大きな窓がある広々としたリビングなど、ご家族の夢をかなえ豊かな暮らしをとどけるプランがつけれます。



省エネ性 一年中快適に過ごせ、省エネもできます。

世界最高レベルの断熱性能フェノールフォーム採用。

プレウォールでは一般的な住宅に使用されている断熱材「グラスウール」にくらべて約2倍の断熱効果をもつ「フェノールフォーム」を採用しています。耐久性も高く、何年経っても変わらぬ断熱性能を誇ります。

A種フェノールフォーム保温板3種1号



「すっぱり包む」…夏涼しく冬あたたかく1年中快適。

もともと寒さの厳しい北欧で誕生したパネル工法。住まい全体を断熱材・フェノールフォームで包み込みます。屋外の気温を伝えにくいように、室内の空気も漏れにくいので、寒い冬には一度温めた空気を外に逃がさないのはもちろん、暑い夏の冷房効果も抜群です。



「経済的」…年間なんと、約70,000円の光熱費を削減。

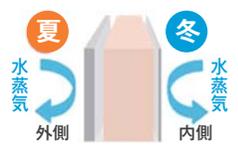
プレウォールの住宅は電気代も節約できます。家庭生活においてもっともエネルギーを消費するのは冷暖房。光熱費に換算すると、一般住宅では199,018円/年となる。プレウォールの住宅では126,312円/年となり、1年で72,706円もの光熱費が節約できます。



耐久性 万全の湿気・結露対策で、家を長持ち。

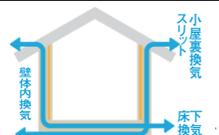
「湿気」…フェノールフォームは内部結露させない設計なので家は長持ちするのです!

断熱性能を持つ断熱材「フェノールフォーム」は、一般的な断熱材である繊維系断熱材の欠点である吸水性の心配がありません。内部結露もおきないので家は長持ちするのです。※壁(断熱材)の中が湿っている状態が続くと、柱や土台を腐らせる原因となります。



「通気」…壁体内で結露させない通気工法。

結露を防ぐため、プレウォールでは壁の中の湿気を外に排出する「通気層」と「小屋裏換気スリット」を採用。壁体内通気層が空気を流動させ、小屋裏換気スリットが湿気を排出。また通気層は、雨漏りの原因ともいわれる室内と室外の気圧の差を少なくする効果もあります。



「換気」…計画換気で家の中の空気はいつもフレッシュ。

住宅には、健康を害することがないように、室内の湿気や汚れた空気を入れ替える「計画的な換気」が必要です。隙間の多い住宅では、風や室内外の温度差によって漏れがおり、「計画的な換気」を行うことができません。一方、プレウォールの住まいは、気密性能が高いため、「計画的な換気」をしっかり行うことができるので、家の中の空気をきれいに保ちます。

